2022年度 第３四半期決算説明会

2023年3月3日

【証券コード 4401】

ADEKA
Add Goodness

2022年度 決算説明

第３四半期　2022年4月1日～2022年12月31日

代表取締役社長　城詰 秀尊

目次

1. 2022年度 第３四半期連結業績 ・・・ P３

2. 2022年度 連結業績予想および配当予想 ・・・ P14

3. ご参考 ・・・ P22

・中期経営計画『ADX 2023』進捗状況
・海外売上高

1. 2022年度 第３四半期連結業績

2022年度 第３四半期連結業績の概要

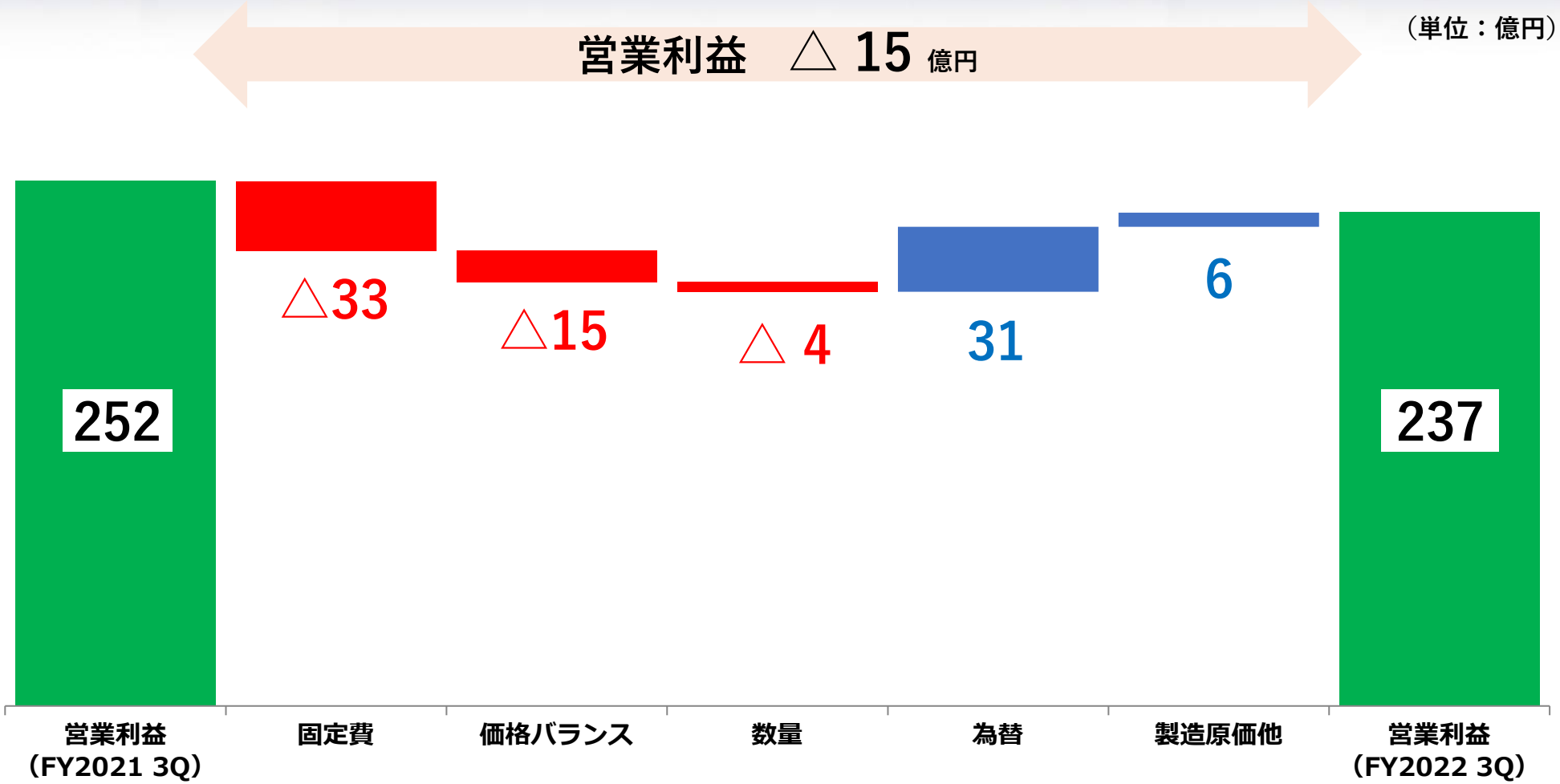
（単位：億円）

	2021年度 第３四半期	2022年度 第３四半期	増減	増減率 （%）
売上高	2,605	2,961	356	13.7
営業利益	252	237	△ 15	△ 6.1
経常利益	263	243	△ 20	△ 7.8
四半期利益	191	146	△ 44	△ 23.2
１株利益	185.2円	142.8円	△ 42.4円	

注1 ）金額は億円未満を切り捨てて表示
注2 ）2021年度第３四半期は会計方針の変更による遡及適用後の数値を記載

営業利益の増減分析

（単位：億円）

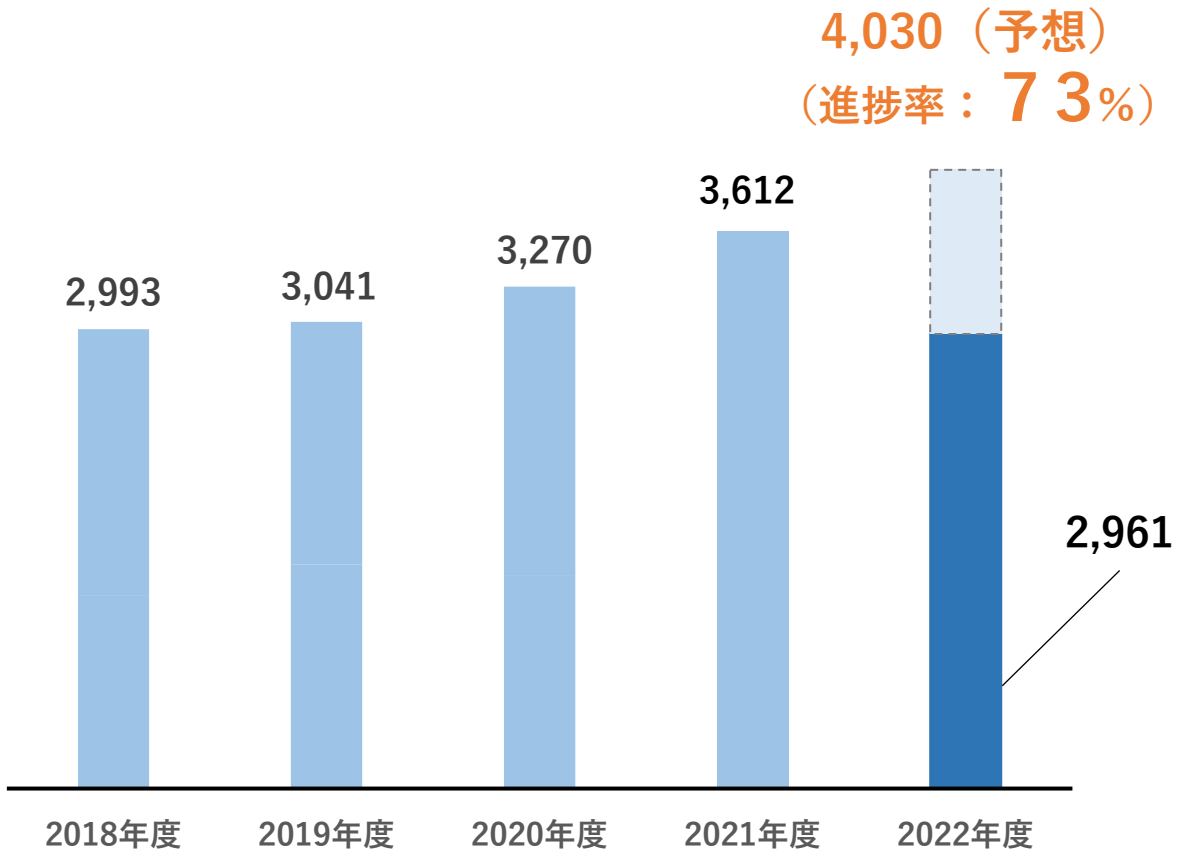


注1 ）金額は億円未満を切り捨てて表示
注2 ）2021年度第３四半期は会計方針の変更による遡及適用後の数値を記載

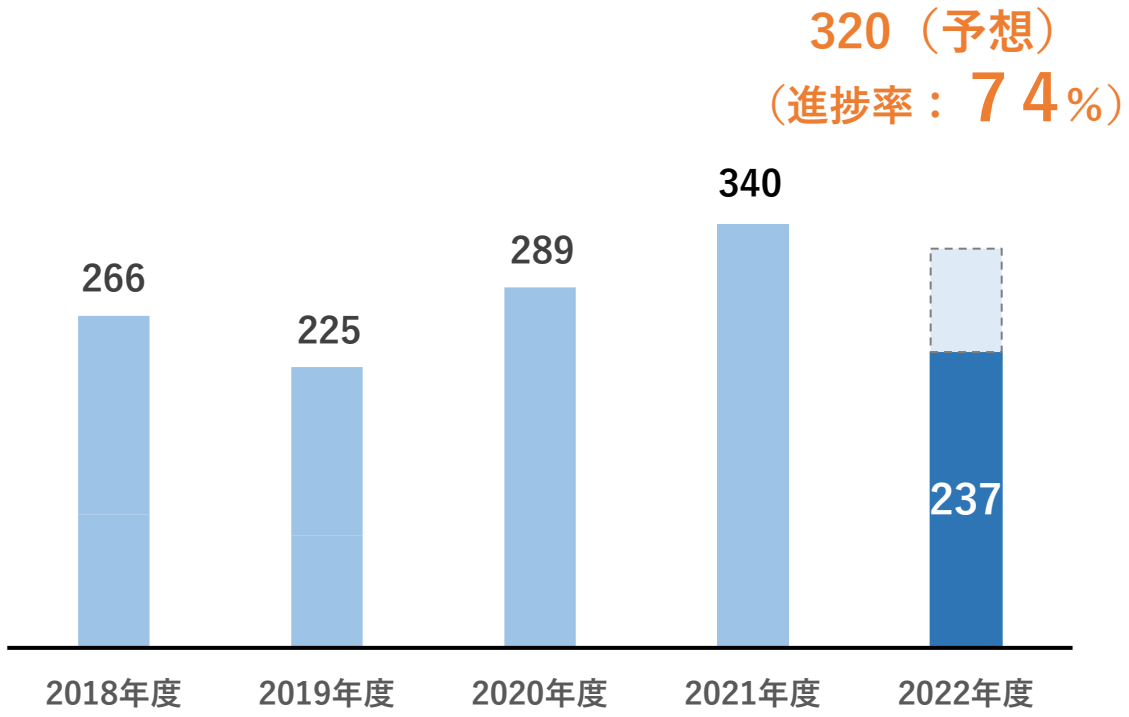
連結業績推移

（単位：億円）

売上高



営業利益



注1 ）金額は億円未満を切り捨てて表示
注2 ）2021年度は会計方針の変更による遡及適用後の数値を記載

2022年度 第３四半期連結業績（セグメント別）

（単位：億円）

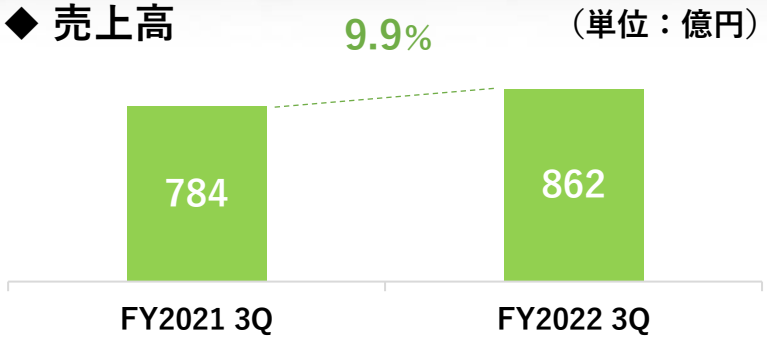
	2021年度 第３四半期	2022年度 第３四半期	増減	増減率（%）
売上高	2,605	2,961	356	13.7
化学品	1,484	1,623	138	9.3
樹脂添加剤	*784*	*862*	*77*	*9.9*
情報・電子化学品	*276*	*269*	*△ 6*	*△ 2.3*
機能化学品	*423*	*491*	*67*	*16.0*
食品	553	623	70	12.7
ライフサイエンス	508	660	151	29.9
その他	59	54	△ 4	△ 7.8
営業利益	252	237	△ 15	△ 6.1
化学品	223	208	△ 15	△ 7.1
樹脂添加剤	*80*	*76*	*△ 4*	*△ 5.3*
情報・電子化学品	*89*	*81*	*△ 7*	*△ 8.7*
機能化学品	*54*	*50*	*△ 3*	*△ 7.0*
食品	3	▲ 19	△ 22	-
ライフサイエンス	21	44	22	101.5
その他	4	4	0	17.0

注1 ）金額は億円未満を切り捨てて表示
注2 ）2021年度第３四半期は会計方針の変更による遡及適用後の数値を記載

化学品事業（樹脂添加剤）

◆ 売上高

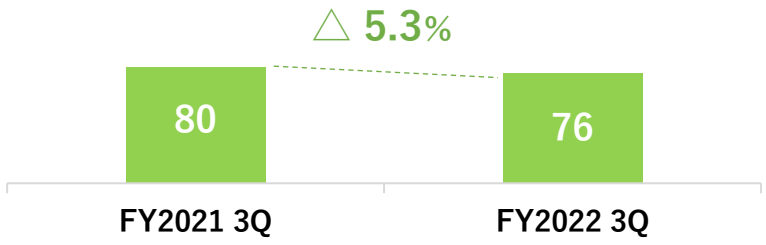
（単位：億円）



FY2022（会計）	1Q	2Q	3Q	4Q
	305	289	268	–

◆ 営業利益

（単位：億円）



FY2022（会計）	1Q	2Q	3Q	4Q
	28	25	22	–

注）金額は億円未満を切り捨てて表示

売上高の主な要因（対前年同期）

・テイクアウト需要が拡大し、米国や欧州で食品包装向けに透明化剤の販売が好調。
・自動車向け製品は販売数量が減少したものの、販売価格改定と為替で増収。

◆ 食品包装・医療
好　調　透明化剤

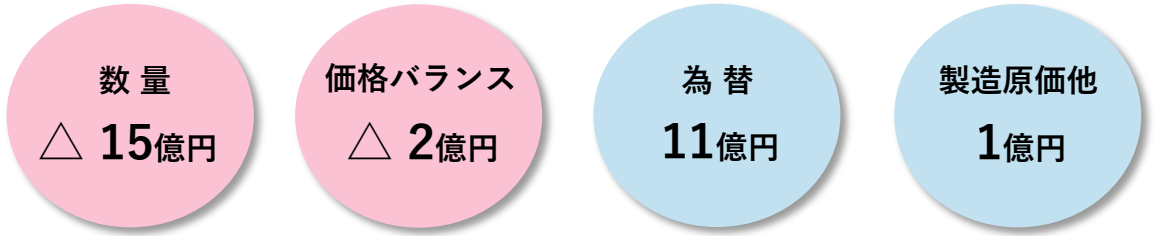
◆ 自動車
伸　長　核剤、ゴム用可塑剤

◆ プラスチック製品全般
伸　長　ワンパック顆粒添加剤、酸化防止剤

◆ 建材・インフラ
低　調　住宅内装材向け　塩ビ用安定剤

◆ 家電（筐体）
低　調　エンジニアリングプラスチック用難燃剤

営業利益の主な要因（対前年同期）

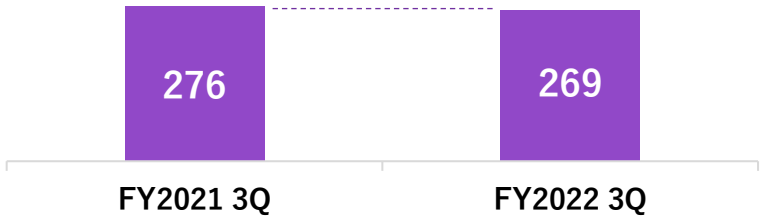


化学品事業（情報・電子化学品）

◆ 売上高

（単位：億円）

△ 2.3%

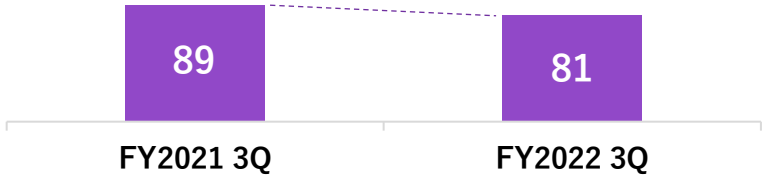


FY2022（会計）	1Q	2Q	3Q	4Q
	91	87	90	–

◆ 営業利益

（単位：億円）

△ 8.7%



FY2022（会計）	1Q	2Q	3Q	4Q
	25	26	28	–

注）金額は億円未満を切り捨てて表示

売上高の主な要因（対前年同期）

・デジタル化の進展を背景に、先端半導体向けに高誘電材料等の販売が拡大。
・パネルの需要は底を打ったものの、材料の需要回復までには至らず、ディスプレイ関連材料が大幅減。

◆ 半導体

好　調	DRAM向け 高誘電材料（新製品）
堅　調	先端リソグラフィ用途 光酸発生剤 NAND向け 製品

◆ ディスプレイ

低　調	光学フィルム向け 光硬化樹脂 カラーフィルター向け 光重合開始剤 液晶パネル向け　ブラックマトリクスレジスト エッチング用薬液

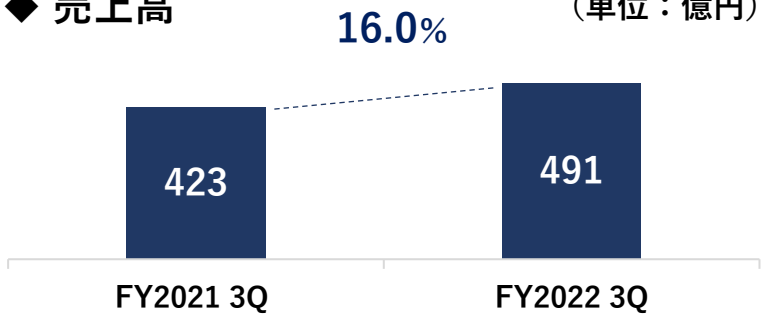
営業利益の主な要因（対前年同期）

数 量	価格バランス	製造原価他	為 替
△ 12億円	△ 1億円	△ 1億円	6億円

化学品事業（機能化学品）

◆ 売上高

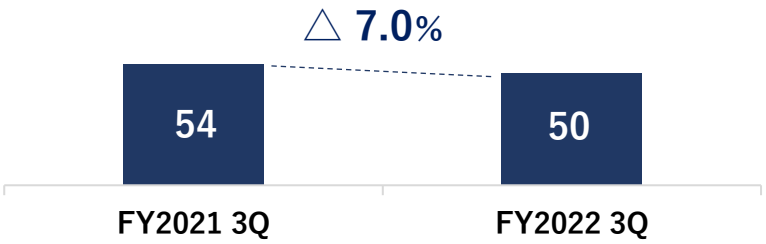
（単位：億円）



FY2022（会計）	1Q	2Q	3Q	4Q
	158	166	166	–

◆ 営業利益

（単位：億円）



FY2022（会計）	1Q	2Q	3Q	4Q
	17	15	17	–

注）金額は億円未満を切り捨てて表示

売上高の主な要因（対前年同期）

・エンジンオイル用潤滑油添加剤は、海外での新規採用等により販売拡大。
・国内外の化粧品市況が持ち直し、界面活性剤の販売が回復基調。

◆ 自動車
- 好　調　エンジンオイル用 潤滑油添加剤
- 堅　調　構造接着用 特殊エポキシ樹脂

◆ 建築
- 好　調　塗料向け 反応性乳化剤

◆ 化粧品
- 堅　調　界面活性剤

◆ 一般工業用
- 低　調　プロピレングリコール類、液晶パネル向け 過酸化製品

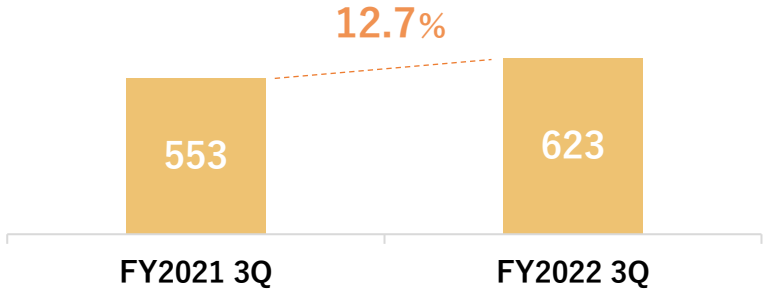
営業利益の主な要因（対前年同期）

価格バランス	固定費他	為 替	数 量
△ 8億円	△ 5億円	9億円	1億円

食品事業

◆ 売上高

（単位：億円）



FY2022（会計）	1Q	2Q	3Q	4Q
	202	195	224	–

◆ 営業利益（損失）

（単位：億円）



FY2022（会計）	1Q	2Q	3Q	4Q
	▲ 8	▲ 10	▲ 0	–

注）金額は億円未満を切り捨てて表示

売上高の主な要因（対前年同期）

・マーガリン、ショートニング類は最終商品のダウンサイジングにより販売数量が減少。
・国内での販売拡大や前期から取り組む販売価格改定により増収。

◆ 製パン、製菓

伸　長	機能性マーガリン「マーベラス」シリーズ
低　調	マーガリン、ショートニング、フィリング

◆ 土産菓子

堅　調	フィリング

営業損失の主な要因（対前年同期）

為替	数 量	価格バランス	固定費他
△ 10億円	△ 6億円	△ 4億円	△ 1億円

食品事業（営業利益の増減分析）

（単位：億円）



ＡＤＥＫＡ（単独）

国内の製パン、製菓、洋菓子・デザート市場がメイン

（単位：億円）

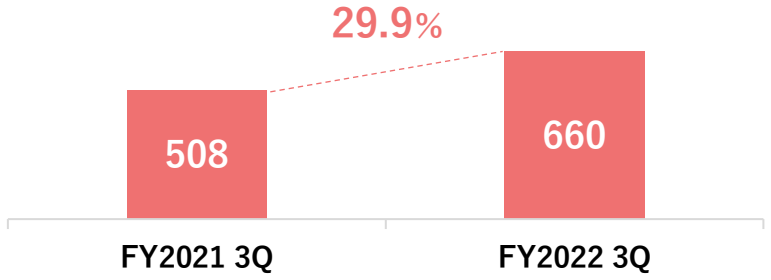
為 替		数　量		価格バランス		製造原価・固定費	
△ 9	1Q △ 3	△ 6	1Q △ 3	△ 3	1Q △ 7	△ 1	1Q 2
	2Q △ 3		2Q △ 3		2Q △ 0		2Q △ 0
	3Q △ 2		3Q 0		3Q 3		3Q △ 2

注 ）金額は億円未満を切り捨てて表示

ライフサイエンス事業（日本農薬）

◆ 売上高

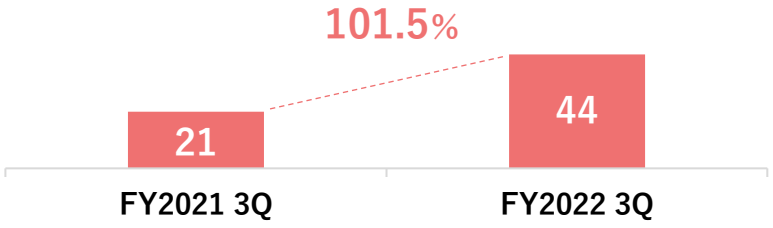
（単位：億円）



FY2022（会計）	1Q	2Q	3Q	4Q
	240	191	228	–

◆ 営業利益

（単位：億円）



FY2022（会計）	1Q	2Q	3Q	4Q
	25	0	18	–

注1）金額は億円未満を切り捨てて表示
注2）2021年度第３四半期は会計方針の変更による遡及適用後の数値を記載

売上高の主な要因（対前年同期）

・世界最大の農薬市場であるブラジルで主要作物の作付面積が拡大し販売拡大。
・欧州で主にばれいしょ向け除草剤の販売拡大。

◆ 農薬

好　調

ブラジル　サトウキビ用除草剤
北米　棉向け殺菌剤
欧州　ばれいしょ向け　除草剤
日本　コルテバ社製品

◆ 医薬品

堅　調

爪白癬分野
外用抗真菌剤「ルリコナゾール」「ラノコナゾール」

営業利益の主な要因（対前年同期）

数量	為替	固定費他
28億円	14億円	△ 20億円

2. 2022年度 連結業績予想および配当予想

2022年度 第４四半期の市場環境見通し

世界経済　世界的なエネルギー危機、インフレの長期化を背景に景気減速感が強まっている

市場トレンド

セグメント	マーケット	2022年度 3Q	2022年度 3Q⇒4Q	関連製品
化学品	自動車	UP		樹脂添加剤（添加剤、可塑剤、塩ビ用安定剤） 機能化学品（潤滑油添加剤、特殊エポキシ樹脂、塗料用添加剤、一般工業用薬剤）
	建材	DOWN	FLAT	
	電子デバイス			情報・電子化学品（半導体材料、光酸発生剤、光硬化樹脂、重合開始剤）
	化粧品			機能化学品（化粧品原料、工業薬品）
	手洗い・消毒用品			機能化学品（界面活性剤）
食品	量販店・コンビニ（パン・菓子・デザート）			食品（マーガリン、ショートニング、ホイップクリーム、フィリング）
	観光・外食産業（土産菓子・ファストフードほか）			
ライフサイエンス	農業			農薬（水稲用殺虫剤・殺菌剤、園芸用殺虫剤・殺菌剤、除草剤）

2022年度 連結業績予想の修正

（単位：億円）

	前回予想	今回修正予想（2023/2/10）			2021年度実績	増減	
	通期	3Q累計実績	4Q	通期 (a)	(b)	額 (a)-(b)	率 (%)
売上高	4,200	2,961	1,068	4,030	3,612	417	11.6
営業利益	370	237	82	320	340	△ 20	△ 6.0
経常利益	369	243	76	320	356	△ 36	△ 10.3
当期利益	220	146	43	190	236	△ 46	△ 19.8
1株利益	213.6円	142.8円	42.4円	185.3円	229.7円	-	-

		2022年度4Qの前提		2021年度実績
為替	円／$	修正なし	130.00	112.42
	円／€	修正なし	140.00	130.55
ナフサ	円／KL	修正なし	85,000	56,625

注1）金額は億円未満を切り捨てて表示
注2）2021年度実績は会計方針の変更による遡及適用後の数値を記載

2022年度 連結業績予想（セグメント別）

（単位：億円）	前回予想	今回修正予想（2023/2/10）			2021年度実績 (b)	増減	
	通期	3Q累計実績	4Q	通期 (a)		額 (a)-(b)	率 (%)
売上高	4,200	2,961	1,068	4,030	3,612	417	11.6
化学品	2,320	1,623	530	2,154	2,001	152	7.6
樹脂添加剤	*1,230*	*862*	*274*	*1,137*	*1,068*	*68*	*6.4*
情報・電子化学品	*400*	*269*	*81*	*351*	*364*	*△ 13*	*△ 3.7*
機能化学品	*690*	*491*	*174*	*666*	*567*	*98*	*17.3*
食品	820	623	191	815	733	81	11.1
ライフサイエンス	980	660	319	980	801	178	22.3
その他	80	54	26	81	76	4	5.5
営業利益	370	237	82	320	340	△ 20	△ 6.0
化学品	298	208	44	253	293	△ 40	△ 13.8
樹脂添加剤	*103*	*76*	*13*	*90*	*108*	*△ 18*	*△ 16.9*
情報・電子化学品	*126*	*81*	*21*	*103*	*119*	*△ 16*	*△ 13.5*
機能化学品	*69*	*50*	*9*	*60*	*66*	*△ 6*	*△ 9.2*
食品	▲ 15	▲ 19	0	▲ 19	▲ 6	△ 12	―
ライフサイエンス	81	44	36	81	48	32	68.7
その他	6	4	0	5	5	△ 0	△ 12.4

注1）金額は億円未満を切り捨てて表示　注2）2021年度実績は会計方針の変更による遡及適用後の数値を記載

2022年度 第４四半期の販売見通し①

セグメント	営業利益 通期予想	販売見通し		
樹脂添加剤	前回予想 103 億円 → 今回予想 90 億円 ・2021年度実績：108億円 ・４Q予想（1-3月）：13億円	全般	景況感の悪化 お客様の在庫調整 （原料先安観・物流の正常化）	→ 製品全般について販売数量が減少
		自動車	国内・自動車生産の回復遅れ	→ 添加剤、可塑剤・塩ビ用安定剤
		建材・インフラ	北米の住宅市況悪化	→ 塩ビ用安定剤
		家電	家電の市中在庫「過多」	→ 難燃剤 回復は2023年度の見込み
情報・電子化学品	前回予想 126 億円 → 今回予想 103 億円 ・2021年度実績：119億円 ・４Q予想（1-3月）：21億円	半導体	需要継続	→ 先端ＤＲＡＭ向け高誘電材料・周辺材料 光酸発生剤・周辺材料
			半導体の生産調整他	→ ＮＡＮＤ向け製品、コモディティ材料
		ディスプレイ	パネルの生産調整 （長期化）	→ 光硬化樹脂、光重合開始剤など、 ディスプレイ関連全般 回復は2023年度の見込み

2022年度 第４四半期の販売見通し②

セグメント	営業利益 通期予想	販売見通し
機能化学品	前回予想 69 億円 → 今回予想 60 億円 ・2021年度実績：66億円 ・４Q予想（1-3月）：9億円	自動車：海外中心に需要継続 → エンジンオイル用潤滑油添加剤 建材・インフラ：日本、中国での建築需要の低迷（景況感の悪化） → エポキシ樹脂、塗料用添加剤他 工業用製品：市況低迷（景況感の悪化） → プロピレングリコール類 工業用製品：パネルの生産調整 → 過酸化製品
食　品	前回予想 ▲15 億円 → 今回予想 ▲19 億円 ・2021年度実績：▲ 6億円 ・４Q予想（1-3月）：0億円	製パン、製菓 洋菓子：消費者：低価格・節約志向／メーカー：商品のダウンサイジング → マーガリン、ファットスプレッド、ホイップクリームなど 土産物：旅行者数・訪日外国人増加 → フィリング類 用役・副原料・包装材・物流費に係るコストアップ：販売価格の改定中（タイムラグ有）
ライフ サイエンス	変更なし 81 億円 ・2021年度実績：48億円 ・４Q予想（1-3月）：36億円	■ 農薬 計画に変更なし ブラジルはじめ、海外での農薬販売が堅調に推移する見通し

トピックス　華城市に半導体の研究開発センターを移転（拡充）

ADEKA KOREA CORPORATION

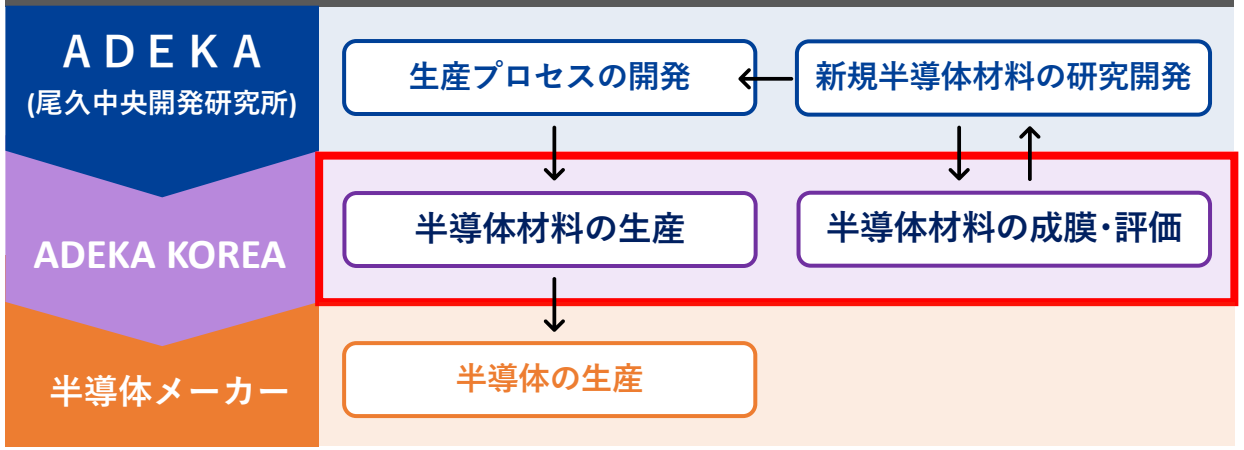
ADEKA KOREA 研究開発センターを移転

水原（スウォン）⇒ 華城（ファソン）

投資金額	延床面積	クリーンルーム
約13億円	7倍	2倍

2023年8月開設予定

ADEKA KOREA CORPORATION の役割



半導体市場の見通し

５Ｇ・ＩＣＴ化の進展
～ 通信技術・データセンターの高度化、デバイスの高機能化 ～

- データセンター拡張による 先端半導体材料の需要増
- 大容量化、消費電力削減ニーズによる 微細化･パッケージの技術革新

次世代材料の開発・シフトが加速

半導体材料の成膜・評価プロセス体制を拡充し、お客様への提案力や市場ニーズへの対応力を強化

配当予想

	中間	期末	合計	配当性向（%）
2022年度予想（2023/2/10）	35円（実績）	35円	70円	37.8
2021年度実績	28円	42円	70円	30.5

3. ご参考

中期経営計画『ADX 2023』進捗状況

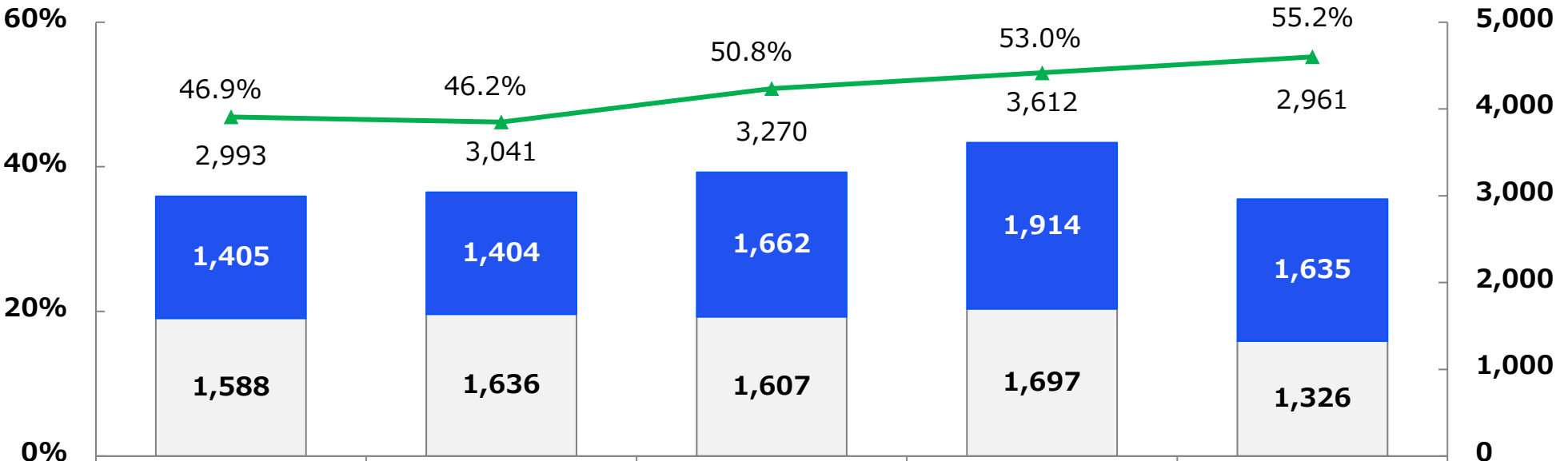
	2021年度 実績 （中計 初年度）	2022年度 予想 （中計 2年目）	2023年度 目標 （中計 最終年度）
営 業 利 益	340 億円	320 億円	420 億円
R O E	9.9 %	7.4 %	9 %
設備投資額	146 億円／年	160 億円／年	500 億円／3カ年
配 当 性 向	30.5%	37.8%	30 %以上維持
年間配当予想	70 円／1 株	（予）70円／1 株	

中間配当
35円／1 株
（当初予想通り）

注1 ）金額は億円未満を切り捨てて表示
注2 ）2021年度実績は会計方針の変更による遡及適用後の数値を記載

海外売上高

（単位：億円）



	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度3Q
海外売上高	1,405	1,404	1,662	1,914	1,635
国内売上高	1,588	1,636	1,607	1,697	1,326
海外売上高比率	46.9%	46.2%	50.8%	53.0%	55.2%
売上高	2,993	3,041	3,270	3,612	2,961

注1）金額は億円未満を切り捨てて表示
注2）2021年度は会計方針の変更による遡及適用後の数値を記載


ADEKA
Add Goodness

2022年度 第３四半期

決算説明補足資料

1. 連結決算補足資料
2. 経営指標等
3. ご参考

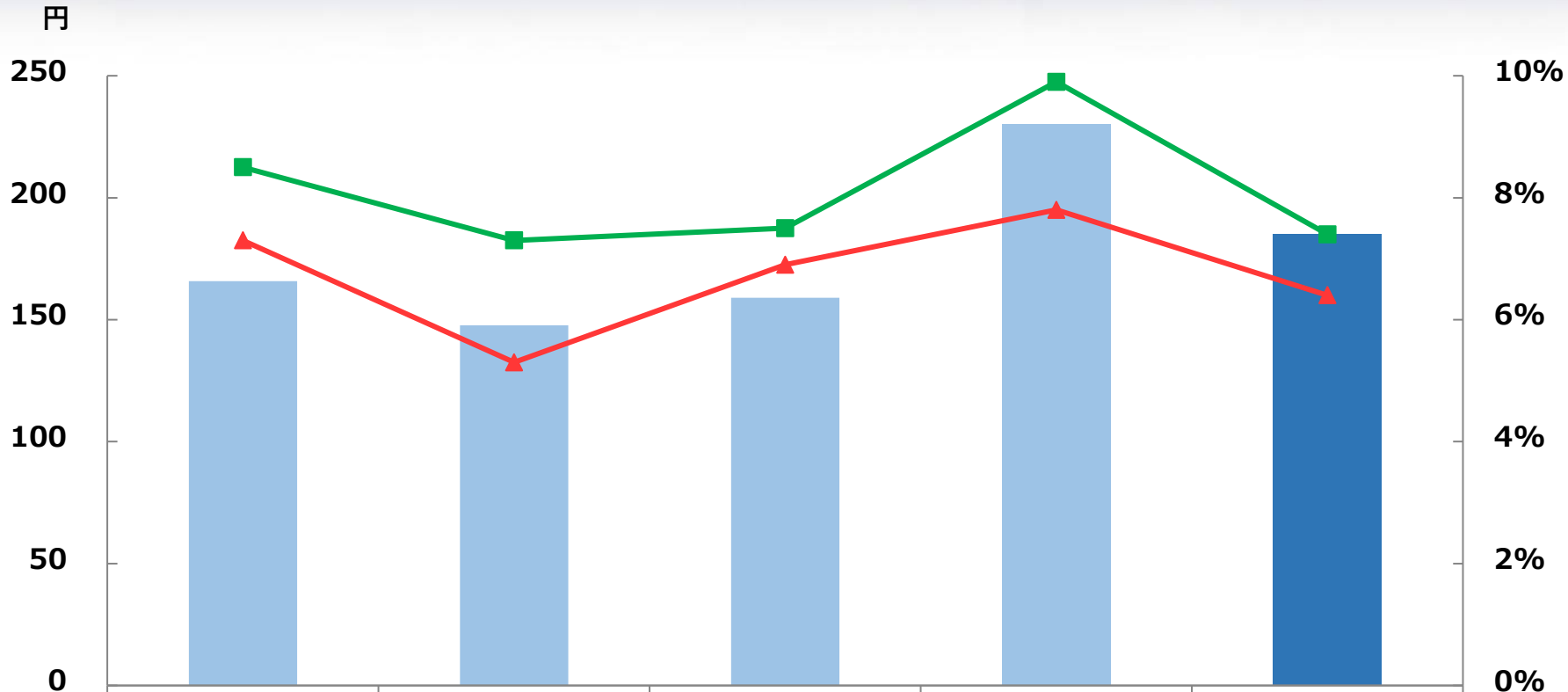
1　連結貸借対照表

（単位：億円）

	22/3末	22/12末	増減		22/3末	22/12末	増減
流動資産	2, 938	3,190	251	負債	1,784	1,939	155
現金及び預金	842	802	△ 39	流動負債	1,148	1,288	140
受取手形及び売掛金等	1,004	932	△ 72	固定負債	635	650	14
棚卸資産	960	1,252	291	純資産	2,968	3,064	96
その他	130	202	72	株主資本	2,300	2,356	56
固定資産	1,814	1,814	△ 0	資本金	230	230	－
有形固定資産	1,193	1,188	△ 4	資本剰余金	201	201	△ 0
無形固定資産	168	176	7	利益剰余金	1,880	1,948	67
投資その他の資産	452	449	△ 3	自己株式	△ 12	△ 23	△ 10
				その他の包括利益累計額	199	223	23
				非支配株主持分	469	484	15
資産合計	4,753	5,004	251	負債・純資産合計	4,753	5,004	251

注１）金額は億円未満を切り捨てて表示　注２）22/3末は会計方針の変更による遡及適用後の数値を記載

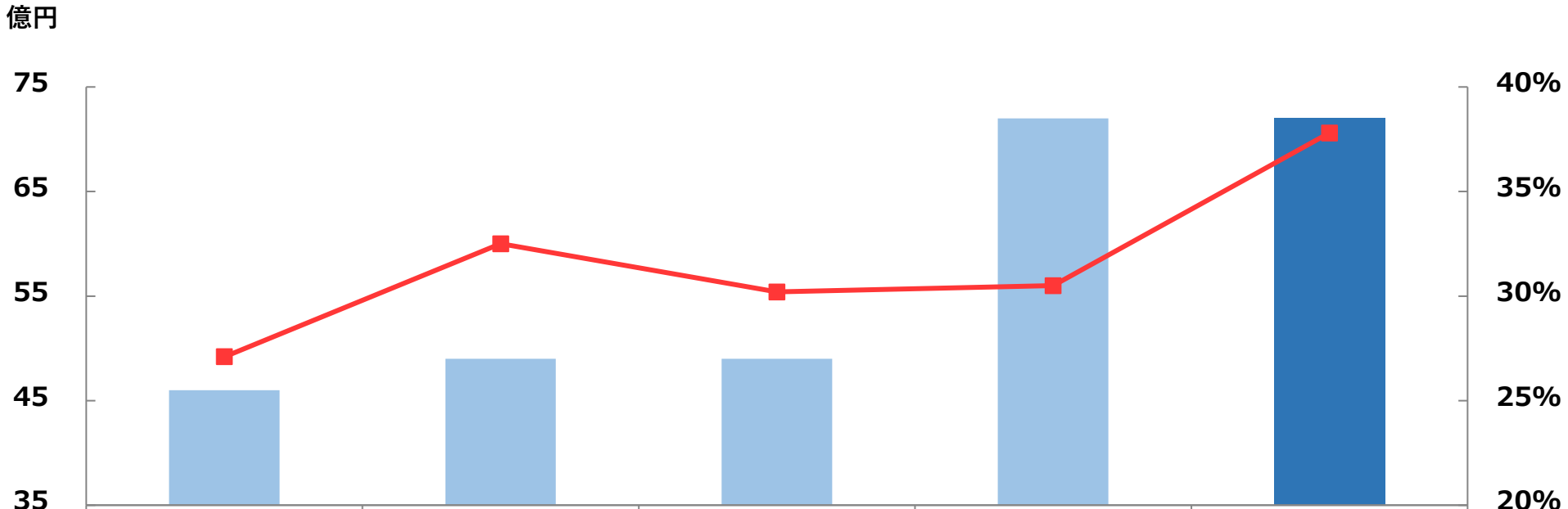
2-1　収益性



	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度予想
EPS（1株当り当期純利益）	165.8円	147.7円	159.0円	229.7円	185.3円
ROE（自己資本当期純利益率）	8.5%	7.3%	7.5%	9.9%	7.4%
ROA（総資産経常利益率）	7.3%	5.3%	6.9%	7.8%	6.4%

注）2021年度は会計方針の変更による遡及適用後の数値を記載

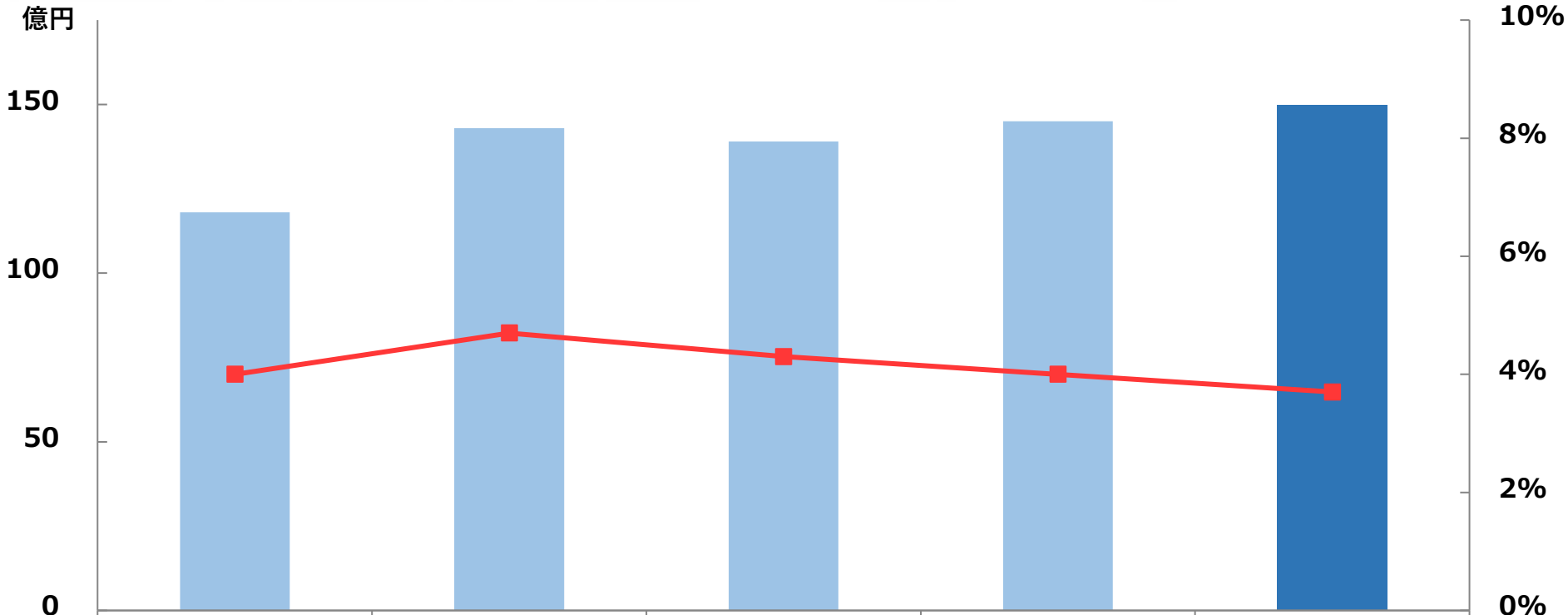
2-2　配当金、配当性向



	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度予想
配当金	45円	48円	48円	70円	70円
配当総額	46	49	49	72	72
配当性向	27.1%	32.5%	30.2%	30.5%	37.8%

注１）配当総額は億円未満を切り捨てて表示
注２）2021年度の配当性向は会計方針の変更による遡及適用後の数値を記載

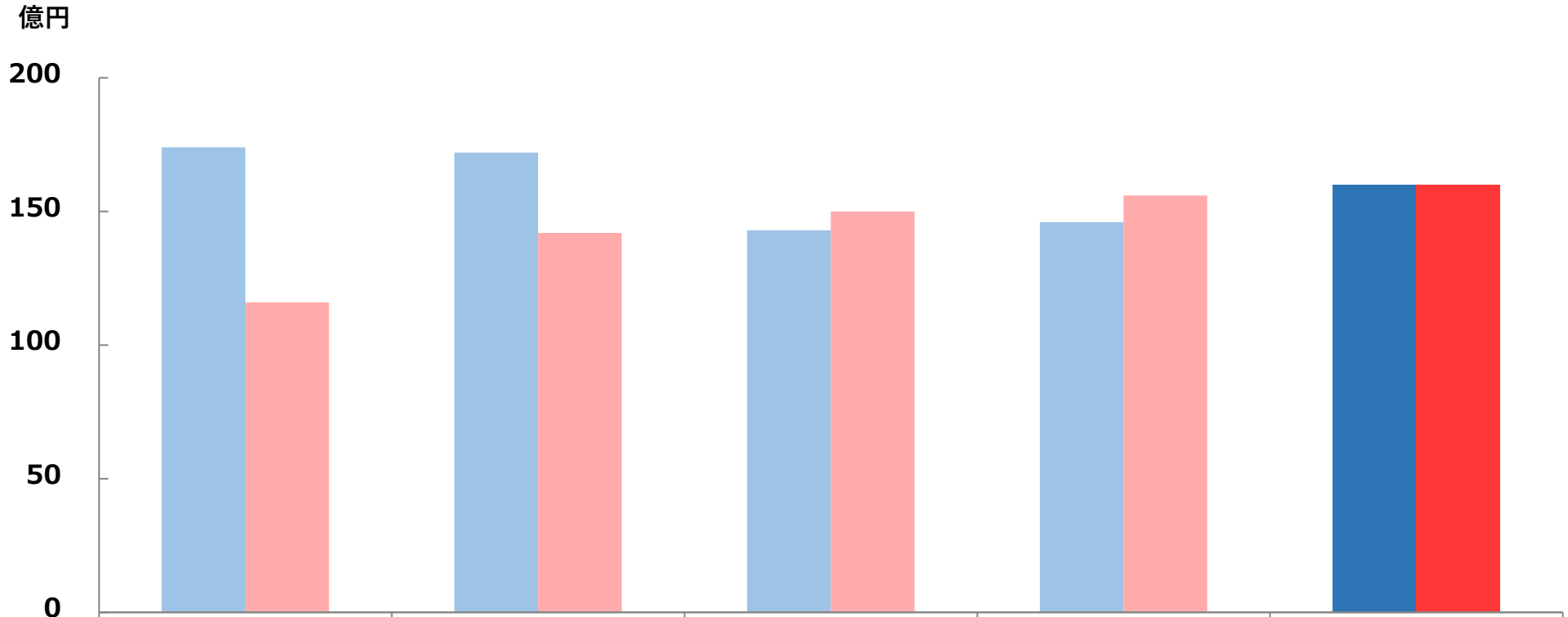
2-3　研究開発費



	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度予想
研究開発費	118	143	139	145	150
売上高研究開発費比率	4.0%	4.7%	4.3%	4.0%	3.7%

注１）研究開発費は億円未満を切り捨てて表示
注２）2021年度の売上高研究開発費比率は会計方針の変更による遡及適用後の数値を記載

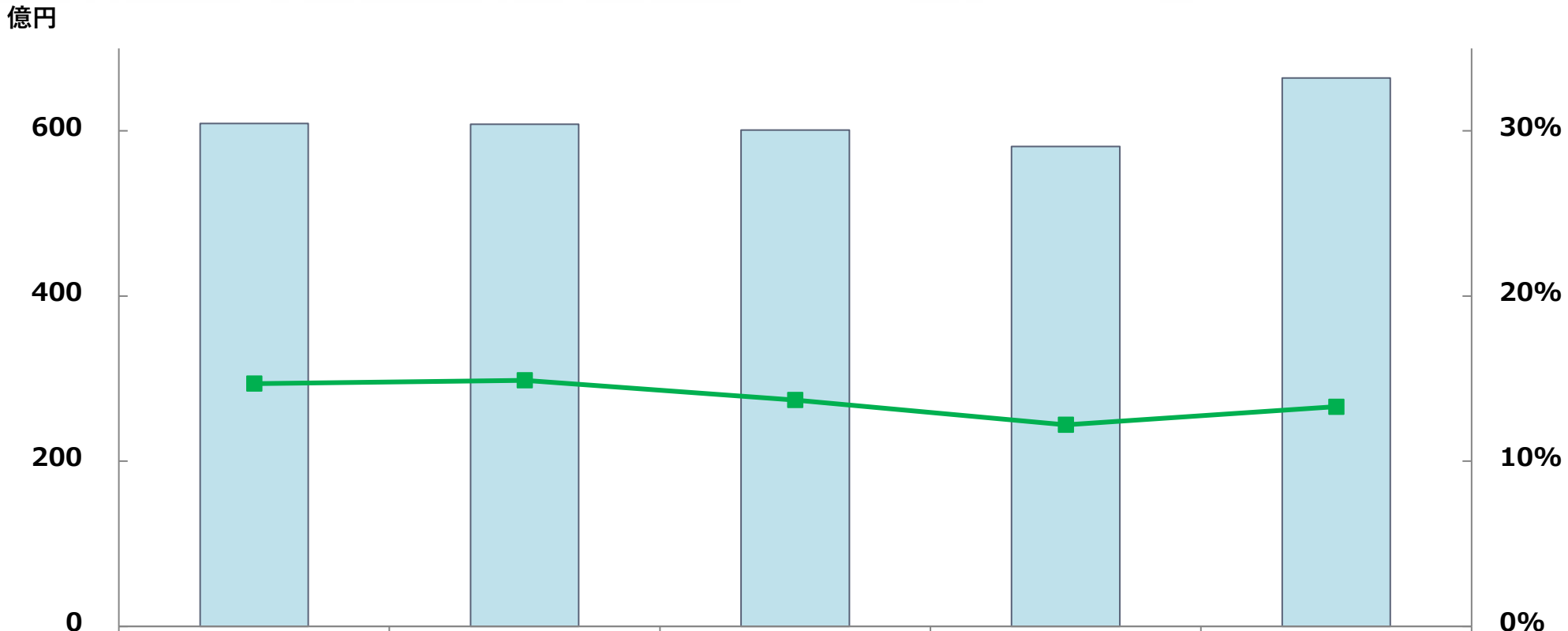
2-4　設備投資



	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度予想
設備投資	174	172	143	146	160
減価償却費	116	142	150	156	160

注）設備投資、減価償却費は億円未満を切り捨てて表示

2-5　有利子負債



	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度3Q
有利子負債	609	608	601	581	664
有利子負債依存度	14.7%	14.9%	13.7%	12.2%	13.3%

注）有利子負債は億円未満を切り捨てて表示

3　事業区分別主要製品

事業区分		主要製品	
報告セグメント	化学品事業	樹脂添加剤	ポリオレフィン用添加剤、塩ビ用安定剤・可塑剤、難燃剤、その他
		情報・電子化学品	高純度半導体材料、電子回路基板エッチング装置及び薬剤、 光硬化樹脂、光開始剤、画像材料、その他
		機能化学品	エポキシ樹脂、ポリウレタン原料、水系樹脂、 界面活性剤、潤滑油添加剤、厨房用洗浄剤、化粧品原料、 プロピレングリコール類、過酸化水素及び誘導品、水膨張性シール材、その他
	食品事業	マーガリン類、ショートニング、チョコレート用油脂、フライ・調理用油脂、ホイップクリーム、 練込用クリーム、フィリング類、冷凍パイ生地、マヨネーズ・ドレッシング、機能性食品素材、 プラントベースフード、その他	
	ライフサイエンス事業	農薬、医薬品、医薬部外品、動物用医薬品、木材用薬品、医療材料、その他	
その他		設備プラントの設計、工事及び工事管理、設備メンテナンス、物流業、倉庫業、車輌等リース、 不動産業、保険代理業、その他	

業績予想・事業計画に関する注意事項

この資料に記載されている業績予想、事業計画は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び種々の前提に基づき作成したものであり、実際の結果は今後生ずる様々な要因によって、予想、計画と異なる場合があります。